

0.9mm が違いを生みます!

# #LSSA [엘싸]

## 臨床ガイド 顔

ニューポン  
[www.newpong.com](http://www.newpong.com)

ニューポンは健康で美しい生活の波を起こすことです。

2021.09.17  
V1.0

---

# コンテンツ

## 01 LSSA - フェイス

- キーワード
- 解剖学

## 02 手順

- デザイン
- 切開
- 潜入
- LSSAの彫刻
- 願望

## 03 ヒント

- 要点
- 質疑応答
- 準備
- アフターケア

## 04 B&A

- フェイス1
- フェイス2
- フェイス3

# 01 LSSA - 顔

DEEP  
SONO™  
LAB

## 顔の脂肪彫刻

顔の脂肪除去の主な部位は頬、二重あご、Vラインの顔です。顔には大きな脂肪量はありませぬ。脂肪は5~10ccしかありません。

従来の方は、細かい部分では不可能です。また、少なくとも1か月程度のダウンタイムが発生します。

しかし、LSSAは0.9mmのプロブを採用しており、神経や血管を傷つけることなく脂肪を特異的に乳化させることができます。また、プロブの直径が小さいため切開や縫合の必要がありません。そのため、ダウンタイムを3日未満に抑え、傷跡の形成を減らすことが可能です。



# 01 LSSA - 顔

## 顔-キーワード

切開も縫合も不要

0.9 mmプローブ :切開や縫合の必要はありません

安全で簡単な手順

ダウンタイムが短い

選択的脂肪ターゲット

神経損傷と副作用を最小限に抑える

選択的脂肪乳化により、疲労やオペレータの負担を軽減

最高の結果

傷跡を残さずに3日以内に通常の生活に戻る

顔の脂肪を減らし、肌の弾力性を高める

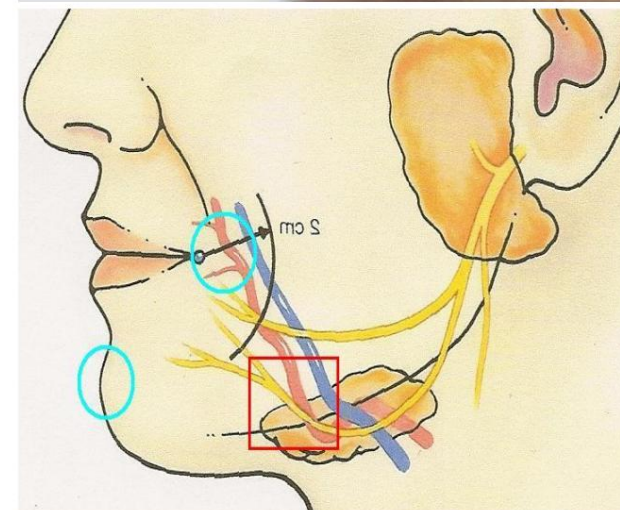
# 01 LSSA - 顔

## 顔 - 解剖学

神経は顔にのみ存在するSMASの下に位置しており、SMASはカニューレによって簡単に破壊されないほど強力です。

通常、神経は皮膚の下約1~2cmに位置します。

マウスの周囲2cm、神経は表層部に存在するため、特別な注意が必要です。



## 01 LSSA - 顔

DEEP  
SONO™  
LAB

## 顔 - 解剖学

顔には顔にのみ存在するSMASがあります。顔の脂肪のほとんどはSMASの上部にあります。

通常、オトガイ下、下顎下、頬、二重あごの領域を治療します。

## 下顎下顎骨

この部位には神経が集中しています。過度な力の入れすぎは避けてください。

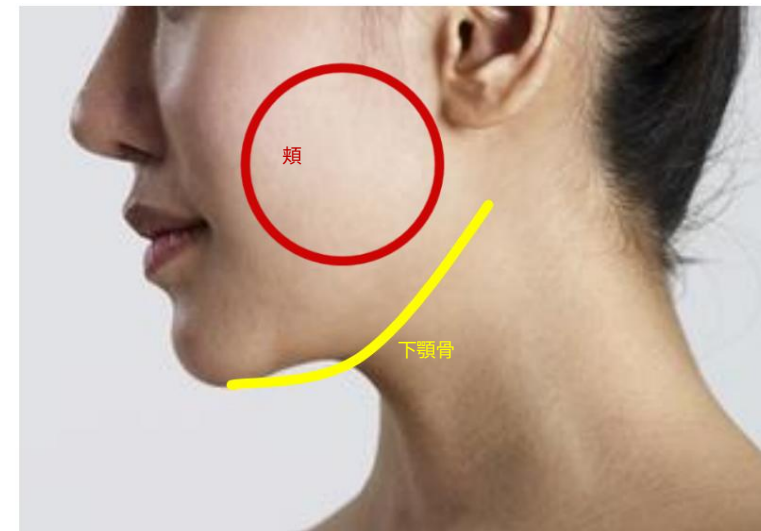
## 頬

頬は、削りすぎて凹んでしまうと顔が老けて見えてしまうので注意が必要です。

## 二重あご

二重あごは顔の他の部分よりも厚い部分です

顎のラインを確認しながらゆっくりとしたスピードで吸引してください。



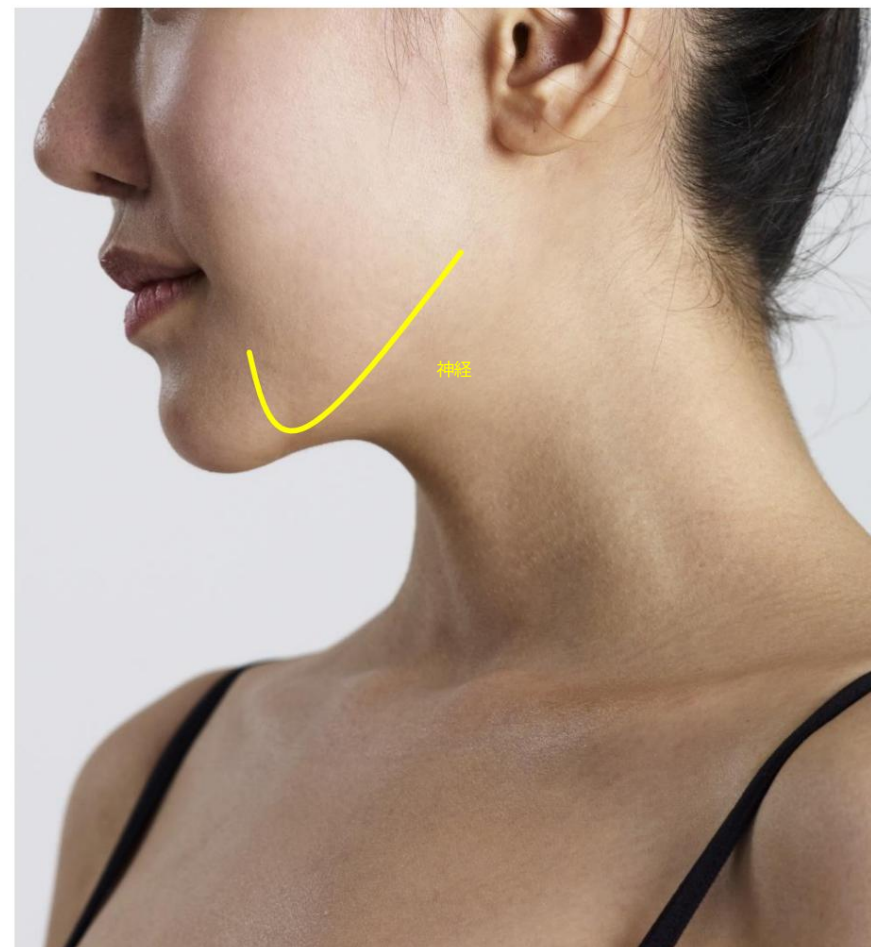
## 02手順 - 顔

### 顔 - デザイン

神経線をチェックする必要があります。

痛みの軽減のために腫脹液にリドカインを少し多めに使用できます。

滅菌状態を保つためにターバンを使用する



## 02手順 - 顔

### 顔面 - 穿刺または切開

#### 0.9 mmプローブ

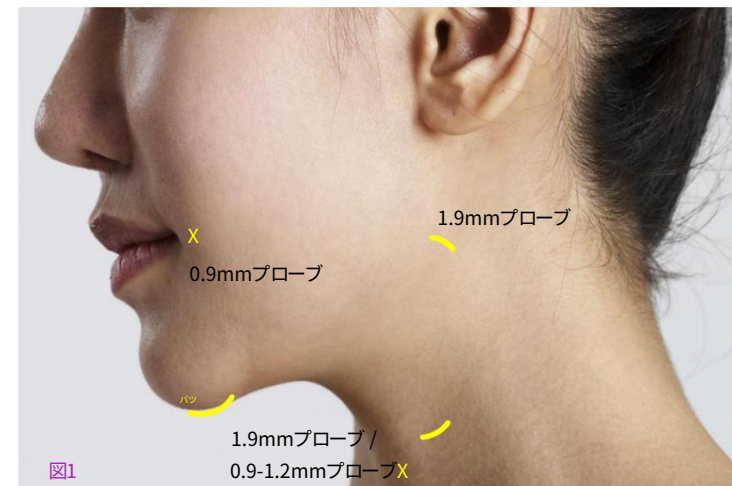
図1を参考に18G針を使用して穿刺してください。

#### 1.2 mmプローブ

11番刃で両耳の下または顎の下を2~3mm切開します。

#### 1.9 mmプローブ

11番刃で両耳の下または顎の下を2~3mm切開します。



## 02手順 - 顔

DEEP  
SONO™  
LAB

### 顔 - 侵入

18Gの針で穿刺し、カニューレでトンネルを掘って浸透を均一にします。

治療部位が硬化するまで浸透腫脹剤を浸透させる。各部位

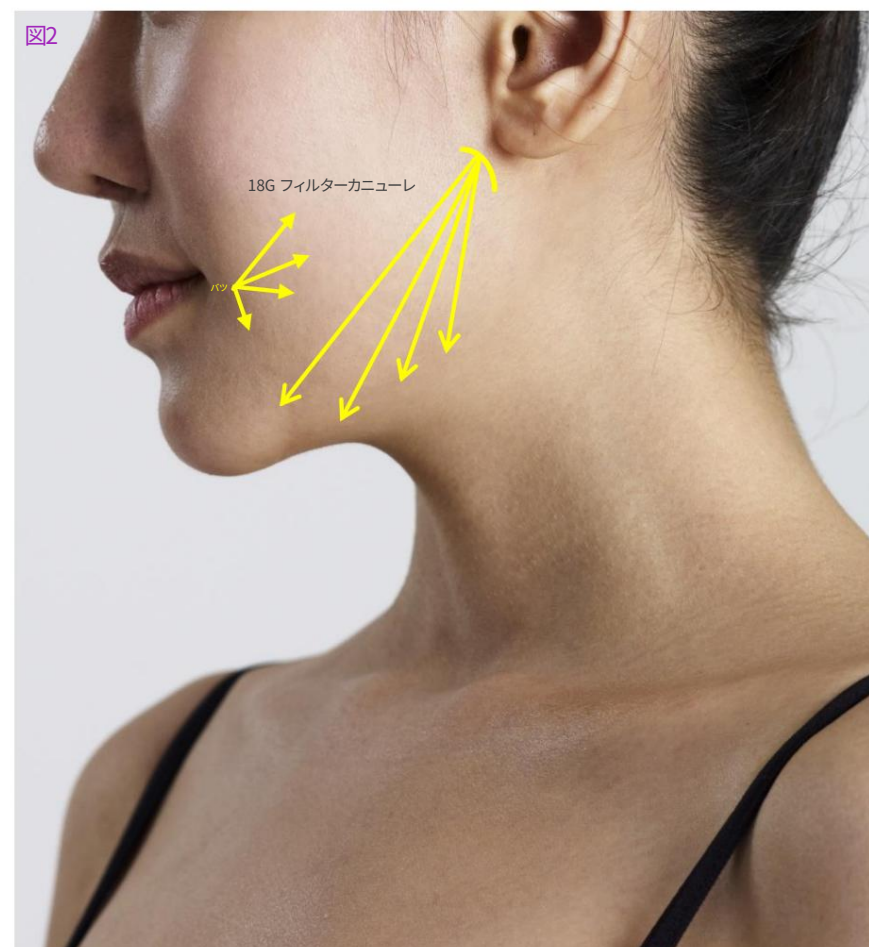
通常10～30ccの腫脹剤が必要です。

腫脹剤を均等に塗り広げます。

(顔の場合は血管収縮を待つ必要はありません。)

表面的に浸透し、ガイドハンドを使って深さを制御します。

カニューレの挿入を容易にするために顔を向けます。局所麻酔は患者との良好なコミュニケーションをとるための最良の方法です。



## 顔 - LSSA 彫刻

(0.9 &amp; 1.2 mmプローブ/頬と二重あご)

LSSA プローブを最初に浅層に、次に深層に刺入します。各領域に対して LSSA を約 3 分間使用します。刺入部位が広がらないように注意してください。

LSSA出力: 0.9 mmプローブ 3~5 Lv. (連続モード)

1.2 mmプローブ 3~5 Lv. (連続モード)



0.9 mmプローブ

図3

プローブの首が皮膚に衝突（摩擦）しないように注意してください。衝突により皮膚が火傷することがあります。(図3)

皮膚を傷つけないように、ストロークはゆっくり行う方が良いです。

ストローク中はプローブを曲げず、まっすぐな状態を維持してください。

LSSAストローク中は、生理食塩水または湿ったガーゼを使用して刺入部位を濡らしてください。火傷を防ぐためです。(図4)

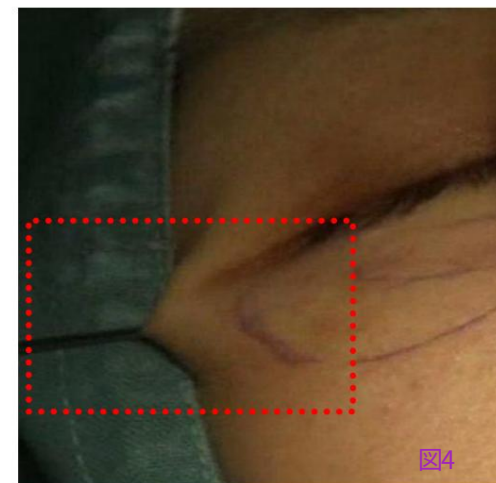


図4

0.9mmプローブ



1.2mmプローブ



## 顔 - LSSA 彫刻

(1.9mmプローブ/二重あご)

LSSAストローク中は、生理食塩水または  
火傷を保護するために湿らせたガーゼを当てます。(図5)

LSSA出力 :1.9 mmプローブ1Lv. (パルスモード)  
0.9~1.2mmプローブ3~5Lv. (連続モード)

ガイドハンドを使用して、治療部位の内側に引き込まれた皮膚を保護します。  
通常、顔の皮膚は薄いので、プローブの動きには注意が必要です。

二重あごの終点では、ピンチテスト後に脂肪の厚さが2mm残ります。(各エリア平均3分)

LSSA後、顔の面積は継続的に減少するため、過剰な吸引は  
推奨されません。



図5

0.9mmプローブ



1.2mmプローブ



1.9mmプローブ



## 02手順 - 顔

### 顔 - 願望

<0.9 & 1.2mmプローブ>

乳化した脂肪を絞り出します。

ダウンタイムを最小限に抑えるために、18~22G のフィラーカニューレで吸引します。

脂肪を吸引しすぎないでください。顔が老けて見え、くぼんで見えます。(1部位あたり平均2cc)

<1.9mmプローブ>

2.0mmの吸引カニューレと注射器を使用します。

二重あごの場合は、エラスティックバンクを 2 週間使用するとダウンタイムを最小限に抑えることができます。



## 顔 - キーポイント

頬と二重あご - 0.9mmプローブまたは1.2mmプローブ

切開の必要はありません。18Gの針で穿刺します。そして、1箇所あたり約10～30ccの腫脹剤を浸潤させます。LSSAで浅層から深層まで3分間ストロークします。

1箇所あたり約2ccを絞り出すか吸引します。

二重あご - 1.9mm

あごの下または耳の下に約2mmの切開を入れます。プロテクターの使用をお勧めします。

LSSA 手順に慣れるまでは過度の電力を与えないでください。パルスモードで 1Lv. が推奨されます。

大量の脂肪を除去するには、2.0mmのマイクロカニューレが推奨されます。

## フェイス - Q&A

Q: 乳化した脂肪を吸引するにはどうすればいいですか? 何cc吸引できますか?

A: 顔に脂肪が多すぎることはありません。頬の場合は、1箇所あたり2~3cc程度絞り出すか吸引することができます。  
二重あごに十分な脂肪組織がある場合は、注射器吸引法を使用して10~20ccの脂肪を吸引することができます。

Q: 超音波エネルギーは筋肉、神経、血管にダメージを与えませんか?

A: 神経のほとんどは筋肉の下にあります。そしてLSSAは脂肪を乳化させるのに効果的な力です。しかし神経は過度な物理的衝突には注意が必要です。そのため、ストロークは優しく行う必要があります。

Q: 手術後の腫れや期間はどのくらいですか? また薬は必要ですか?

A: 青あざは出ません。しかし、施術後2~3日はひどい腫れは出ず、日常生活は可能です。フェイスラインは1週間後から改善し始め、2ヶ月後も少しずつ良くなります。通常、3日分の薬（抗生物質と消炎鎮痛剤）が処方されます。

Q: 手術後はガーメントが必要ですか?

A: LSSAは他の脂肪吸引法に比べてバイオバンド形成が少ないため、顔用のガーメントは必要ありません。しかし、二重あごの脂肪を吸引した場合は、1週間ほどガーメントを着用すると効果的です。

## 顔 - 準備

一般	0.9 mmプローブ	1.2 mmプローブ	1.9 mmプローブ
歯科用リドカイン			
膨潤溶液	18 - 25 G 針	18 - 25 G 針	No 11 ブレードと縫合糸セット
縫合糸セット	必要なし	必要なし	No.11ブレード
浸潤カニューレ	23 - 25 Gカニューレまたは 1.2mm浸潤カニューレ	23 - 25 Gカニューレまたは 1.2mm浸潤カニューレ	23 - 25 Gカニューレまたは 1.2~1.8mm浸潤カニューレ
吸引カニューレ	18 - 21 G 針	18 - 21 G 針	18 - 21 G針または 1.8mm吸引カニューレ（フィッシャー型）
4 x 4 ガーゼ			
10cc。 20ccルアーロックシリンジ			
消毒剤とドレープ			

## 03 ヒント

### 顔 - アフターケア

切開しない場合は縫合の必要がなく、傷の治癒のためにハイドロゲルパッチで終わります。

刺入部は約3日で治癒します。

ほとんどの場合、あざは生じません。頬にはほとんど浮腫はありませんが、重力の影響で二重あごなど下側にむくみが生じることがあります。

手術後1週間から約4週間、10MHzの超音波装置（ソノケア）を使用して週2回投与することで、リンパの循環と瘢痕の予防に役立ちます

施術後1日目からはウォーキングなどの軽い運動が推奨されており、腫れも軽減され早い回復が期待できます。

# 04 B&A

顏



# 04 B&A

顏



ありがとうございました。